

<学校名> 幸手市立八代小学校
<所在地> 幸手市平須賀1-14
<電話> 0480-48-0960

<本事例の特徴> テーマ『世界への扉を開こう』

在外教育施設へ派遣された教員の在外生活経験や、ALTの自国の紹介などの話をもとに各自の課題を決め、ゲストティーチャーの話を聞いたり、ALTにインタビューしたりして調べ活動を行う。調べたことを発表名人にまとめたり、料理体験などをしたりして活動の成果を友達や地域の人々に伝える。

<具体的な取組や成果>

ふれる・つかむ活動

◎ゲストティーチャー等の話を聞く

○在外教育施設へ派遣された教員の話を聞く。

中国の生活（服装 お店の様子 食べ物 子ども達の生活 言葉等々）

○ALTの母国の話を聞く。

アメリカの生活（行事 食べ物 学校生活 スポーツ等々）

◎各自の課題を作る

中国のお茶は日本と似ているようだけれどちがいます。お茶を入れる時の服が決まっているのはびっくりです。アメリカの小学生はバスで登校すると聞きました。楽でいいなとも思いましたが、足はきたえられないと思います。



アメリカのハロウィンは、子どもたちが仮装して、近所の家を回ってお菓子をもらうけれど、外国には他にどんなお祭りがあるのかも調べてみたい。

調べる活動

- ゲストティーチャーにインタビューする。
- 図書室の本やインターネットで調べる。
- お茶の入れ方や料理の仕方をゲストティーチャーに教えていただく。
- 調べたことや教えていただいたことなどを体験する。

まとめる・伝える活動

- 調べたことを発表名人でまとめ、友達や地域の方にわかりやすく説明する。
- ゲストティーチャーに教えていただいた料理を作り、友達や地域の方に食べていただく。



水ぎょうざを作りました。初めてにしてはうまくできたと思います。

